

PRESTO® W80

5Lのガラス反応容器を
+20℃から+150℃に加熱運転

目的：

このケーススタディは5リットルガラスリアクターを使い、JULABO PRESTO® W80の加熱能力をテストします。JULABO PRESTO® W80は1 mの金属配管によって接続されています。温度は、+20℃から+150℃間で加熱運転します。

環境：

室温	+20 °C
湿度	45%
電源	230 V / 50 Hz

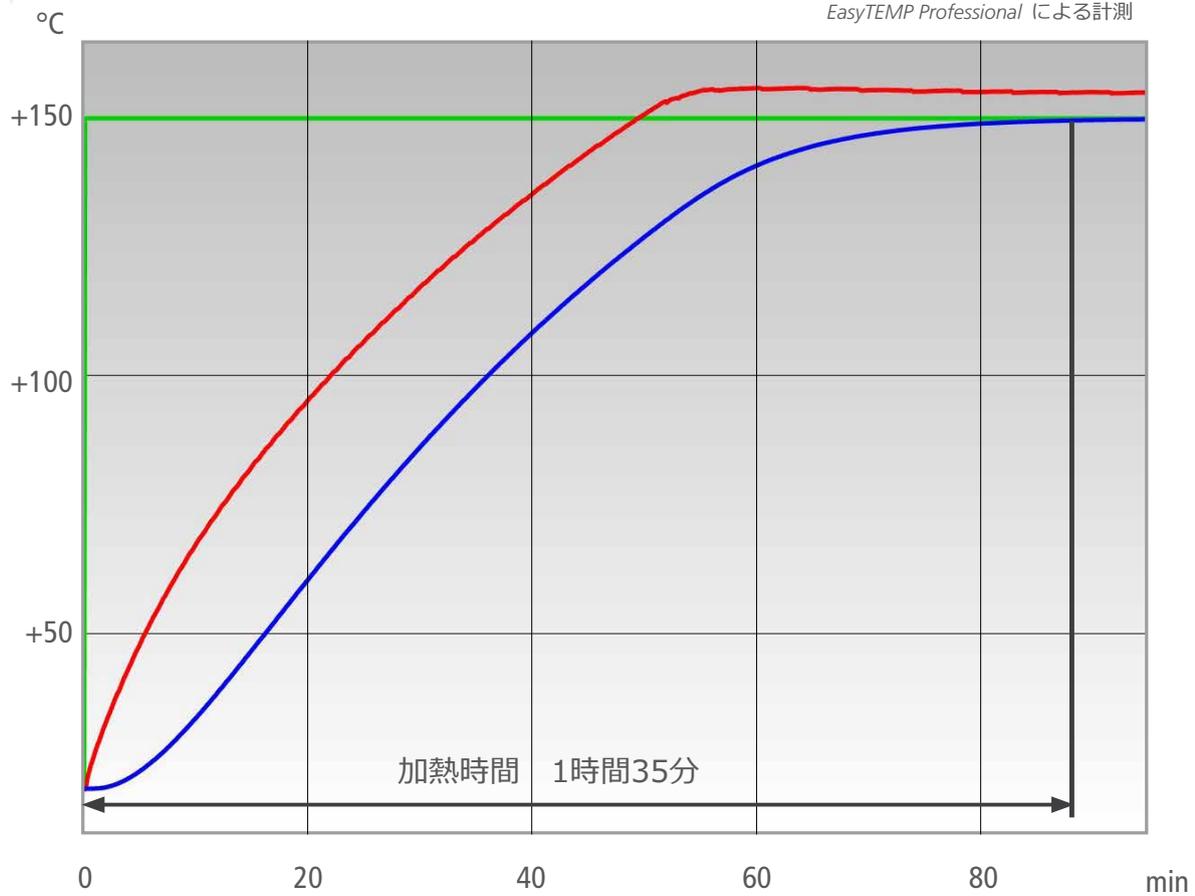
試験条件：

使用機種	PRESTO® W80
冷却能力	+20 °C 1.2 kW 0 °C 1.2 kW -20 °C 1.1 kW
ヒーター容量	1.8 kW
バンドリミット	設定していません
ポンプ圧	0.4 bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL80
反応容器	5 Lガラス製反応容器 (Rettberg) (容器内にはユラボ社製サーマルHL80を5L充填しています)
ジャケット容量	2.5 L
温度制御	外部制御 (ICC)



試験結果：

1時間35分で+20℃から+150℃へ加熱運転しました。
オーバーシュートすることなく+150℃に達しました。



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット温度

